

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年12月2日(2005.12.2)

【公表番号】特表2001-525944(P2001-525944A)

【公表日】平成13年12月11日(2001.12.11)

【出願番号】特願平10-548922

【国際特許分類第7版】

G 0 2 B 6/26

H 0 4 B 10/12

H 0 4 B 10/13

H 0 4 B 10/135

H 0 4 B 10/14

【F I】

G 0 2 B 6/26

H 0 4 B 9/00 Q

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月12日(2005.5.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成 17 年 5 月 12 日

特許庁長官 殿



1. 事件の表示

特願平 10 - 548922 号

2. 補正をする者

アジレント・テクノロジーズ・インク

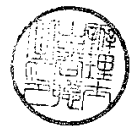
3. 代 理 人

住所または居所 東京都中央区日本橋浜町 2 丁目 17 番 8 号

浜町花長ビル 6 階

氏 名 (8764) 弁理士 古 谷 聡

TEL. (03) 3663-7808 (代)



4. 補正対象書類名

明細書

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

(1) 請求の範囲を別紙の通り補正する。



2. 特許請求の範囲

1. マルチモード光ファイバ通信システムにおいて、光トランシーバ（102）をマルチモード光ファイバ（108、109）に接続するための装置（101）であって、

送信部分であって、前記装置に入ることが許された出射光を、放射線入力(133)において、前記光トランシーバ(102)の光源(131)から、前記送信部分の単一モード光ファイバ（111）内へと受け入れるように構成され、且つ、前記単一モード光ファイバ（111）を通過した後に、前記出射光を前記マルチモード光ファイバ通信システムの第1のマルチモード光ファイバ（108）内へと伝送するように構成されることからなる、送信部分と、

受信部分であって、前記装置に入ることが許された入射光を、前記通信システムの第2のマルチモード光ファイバ（109）から、前記受信部分のマルチモード光ファイバ（112）内へと受け入れるように構成され、且つ、前記入射光を前記光トランシーバ（102）の受信器内へと伝送するように構成されることからなる、受信部分とを含む、装置。

2. 前記光トランシーバの前記光源（131）は、レーザである、請求項1に記載の装置。
3. 出射光は、前記単一モード光ファイバ（111）から、前記マルチモード光ファイバ通信システムの前記第1のマルチモード光ファイバ（108）内へと直接的に伝送される、請求項1又は2に記載の装置。
4. 前記受信部分の前記マルチモード光ファイバ（112）は、前記第2のマルチモードファイバ（109）のコアサイズ以上のコアサイズを有する、請求項1乃至3のいずれかに記載の装置。
5. 前記送信部分に対する接続を前記受信部分に対する接続と区別するための区別手段（121、122）であって、そのように区別することにより、前記送信部分が前記光源（131）と前記第1のマルチモードフ

ファイバ（108）との間の接続だけを提供することができ、且つ、前記受信部分が前記光受信器（132）と前記第2のマルチモードファイバ（109）との間の接続だけを提供することができることからなる、区別手段を更に含む、請求項1乃至5のいずれかに記載の装置。

6. 前記区別手段（121、122）は、前記送信部分と前記受信部分とのそれぞれの端部におけるキー止め機構によって提供される、請求項5に記載の装置。

7. 前記装置は、パッチコードの形態で提供される、請求項1乃至6のいずれかに記載の装置。

8. 前記装置は、ドングルの形態で提供される、請求項1乃至6のいずれかに記載の装置。

9. 前記送信部分は、前記放射線入力において前記装置に入ることが許された光が、該送信部分の前記単一モード光ファイバ（111）を介した伝送後に、実質的には単一モードの光として提供されるように構成される、請求項1乃至8のいずれかに記載の装置。

10. 光トランシーバ（102）と、請求項1乃至9のいずれかに記載の装置とを含む、マルチモードファイバ光通信システムにおいて使用するための通信装置。

11. 光トランシーバ（102）と、該光トランシーバから出射光を受けるための、及び該光トランシーバに入射光を供給するための、それぞれ第1及び第2のマルチモード光ファイバ（108、109）とを含む通信システムであって、前記光トランシーバと、前記第1及び第2のマルチモード光ファイバとが、接続装置によって接続されており、該接続装置は、請求項1乃至9のいずれかに記載の装置を含むことからなる、通信システム。

12. 前記接続装置は、請求項7に記載の装置か、或いは請求項7に依存する請求項8又は請求項9に記載の装置であり、

前記区別手段は、前記光トランシーバと前記装置との、並びに前記装置と前記第1及び第2のマルチモード光ファイバとの、相対的な空

間の配向を、接続においてそれぞれ決定するためのキーである、請求項 11 に記載の通信システム。

13. マルチモード光ファイバ通信システムにおいて、マルチモード光ファイバ (108、109) に光トランシーバ (102) を接続するための方法であって、

送信部分であって、装置に入ることが許された出射光を、放射線入力 (133) において、前記光トランシーバ (102) の光源 (131) から、該送信部分の単一モード光ファイバ (111) 内へと受け入れるように構成され、且つ、前記出射光を、前記単一モード光ファイバ (111) の通過後に、前記マルチモード光ファイバ通信システムの第 1 のマルチモード光ファイバ (108) 内へと伝送するように構成された、送信部分と、

受信部分であって、前記装置に入ることが許された入射光を、前記通信システムの第 2 のマルチモード光ファイバ (109) から、該受信部分のマルチモード光ファイバ (112) 内へと受け入れるように構成され、且つ、前記入射光を、前記光トランシーバの受信器 (132) 内へと伝送するように構成された、受信部分

とを含む接続装置 (101) によって、前記マルチモード光ファイバ通信システムの第 1 及び第 2 のマルチモード光ファイバに前記光トランシーバ (102) を接続するステップを含み、

出射光は、前記光トランシーバ (102) の光源 (131) から、前記接続装置の前記送信部分を介して、前記マルチモード光ファイバ通信システムの第 1 のマルチモードファイバ (108) に伝送され、

入射光は、前記マルチモード光ファイバ通信システムの第 2 のマルチモード光ファイバ (109) から、前記接続装置の前記受信部分を介して、前記光トランシーバの光受信器 (132) に伝送されることからなる、方法。